

1 八幡ジャンクション工事

新名神高速道路と第二京阪道路とが接続する八幡JCT(仮称)では、盛土造成や橋脚工事を行っています。全52基の橋脚のうち現在31基が完成し、残りの橋脚を引続き施工していきます。



2 京田辺高架橋東・西(下部工)工事

木津川から八幡JCT(仮称)へつながる京田辺高架橋(全長約1590m橋脚全105基)の橋脚の施工と、高架橋全域の高架下整備を行います。現在橋脚32基が完成し、残りの橋脚を引続き施工していきます。



3 京田辺高架橋(PC上部工)工事

京田辺高架橋全域の橋げたを担当する工事で、京田辺高架橋1590mのコンクリート桁の施工を行います。現在、防賀川付近より桁の施工を行うとともに、大型移動支保工の組立てを行っています。



4 木津川橋(下部工)工事

木津川を渡河する木津川橋の橋脚を造る工事を行っています。木津川河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間に行います。全16基の橋脚のうち、現在3基が完成し、残りの橋脚を引続き施工しています。10月中旬から3期目の河川内工事に着手する予定です。



5 城陽ジャンクション工事

新名神高速道路と京奈道路とが接続する城陽JCT(仮称)では、埋蔵文化財調査が完了した箇所から盛土造成や橋脚工事を行っています。全37基の橋台・橋脚のうち、現在15基が完成し、残りの橋脚を引続き施工していきます。



新名神京都事務所担当区間 京都府域 17.7 Km

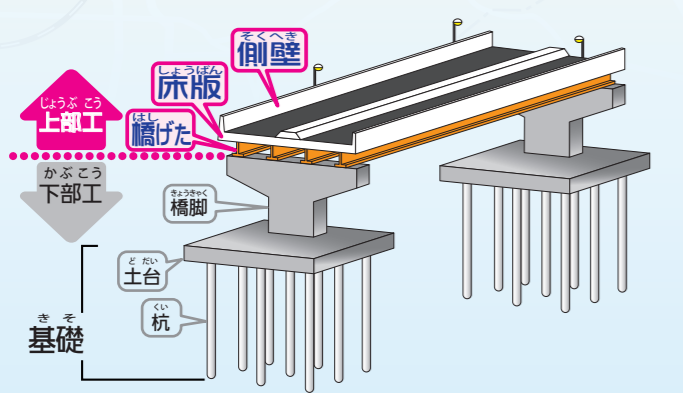
- 城陽 JCT・IC (仮称) ~ 八幡 JCT・IC (仮称) (平成 28 年度完成目標)
- 大津 JCT (仮称) ~ 城陽 JCT・IC (仮称)
- 八幡 JCT・IC (仮称) ~ 高槻第一 JCT (仮称)

『高速道路ができるまで...橋梁上部工・移動支保工編』

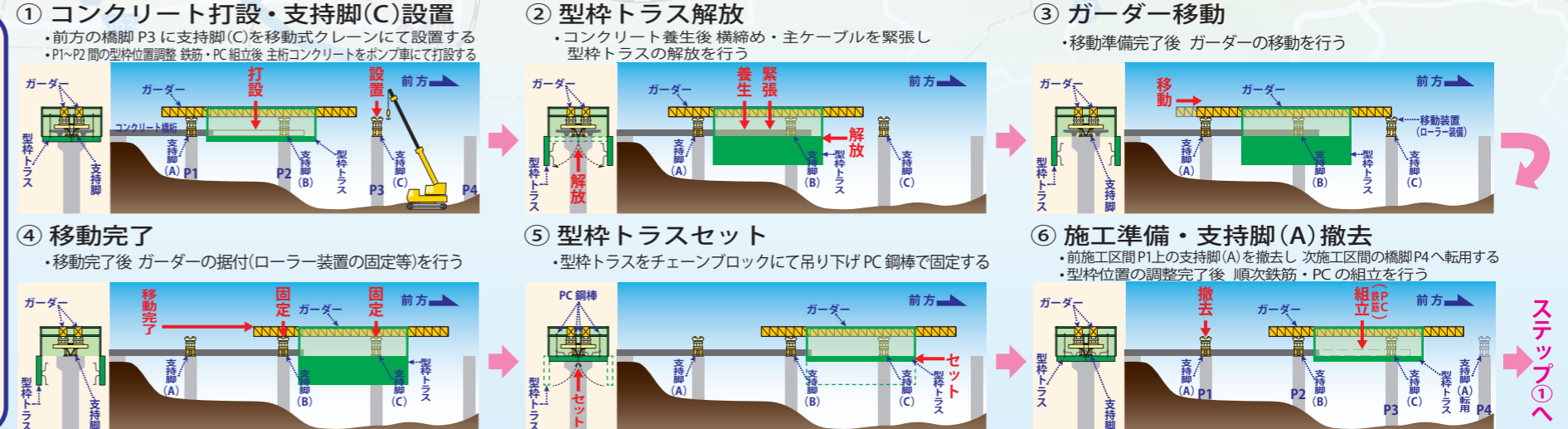
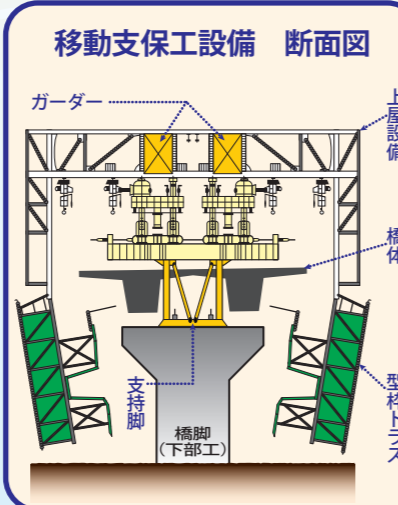
前号では、『高速道路ができるまで...橋梁下部工編』をご紹介しましたが、新名神高速道路の城陽～八幡間では、いよいよ橋梁上部工の施工に取り組み始めました。京田辺市域に位置する、京田辺高架橋(PC上部工)工事は、全長1,590mのコンクリート製の橋梁の施工をしています。この橋梁は様々な架設方法にて施工をしていますが、今回はそのうち、大型移動支保工設備を用いたコンクリート橋桁の施工工程をイラストで皆さんにご紹介します。この大型移動支保工の特徴は、1径間(橋脚間)分のコンクリートを打設するための型枠および支保工の大部分を組み立てた状態のまま、次の径間に移動できる架設工法だということです。型枠、支保工の組立・解体手間を省けるため工期を短縮できるとともに、屋根がついているので全天候型の施工設備となっています。現場写真に掲載のとおり、現在移動支保工設備を組立中です。7月から上部工の施工に取りかかる予定です。

高架橋の構造と工事

高架橋の工事は、橋の土台をつくる工事(下部工)と、道路の本体をつくる工事(上部工)と、大きく2つの工程に分けられて行われます。



上部工ができるまで (移動支保工編)



※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。